

とくしま I NAKA オフィスモデル事業

自治体情報

徳島県 神山町

人口 / 6,355人

標準財政規模 / 3,075百万円

担当課 産業建設課

電話番号 直通 088-676-1118

実施主体 神山町

関連ホームページ

事業期間 平成 24 年度から平成 24 年度まで

関係施策分類 ⑥

予算関連データ

総事業費：6,000千円

| 名称 | 所管 | 金額(千円) |
|-----------|-----|--------|
| 県補助金 | 徳島県 | 3,000 |
| 一般財源(過疎債) | - | 3,000 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

施策のポイント

ブロードバンド環境と自然環境という異色の地域資源を活かし、都会の企業に「新しい働き方」「ゆとりのある生活」を提案し、サテライトオフィスとして企業誘致を行い、地域活性化を図っている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

神山町ではNPOと協働で移住交流事業に取り組んできた。一定の成果を果たしたものの、地域に雇用が必要であり、雇用創出に向けた取り組みとして、サテライトオフィス事業が始まった。

2. 取組の具体的内容

ブロードバンド環境と空き家を利用して、サテライトオフィスという新しい働き方を生み出してきたが、そこから更なるステップを踏み出すため、ITベンチャー企業や創造性あふれるクリエイターを集積する「神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス」という、就労施設を改修する。

徳島発の新しい地域課題解決モデルを生むことを目標としている。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

開設後3年以内に10社程度の企業や個人事業者の誘致を目標としている。

効果については①地方における新しい働き方として注目を浴びており、徳島県の魅力発信に寄与する②進出企業の大部分が本社を大都市圏に置いているため新たな交流や交流人口の増加が見込まれる③地域住民、地元の大学や企業との連携により新しい事業やサービスを生む可能性が高い④進出企業の中には、現地採用を計画している企業もあり、過疎地における新しい雇用を生む

4. 現在までの実績・成果

現在、神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックスの改修を行っている。具体的な施設の仕様は、複数の個室オフィスや個別利用ブースのほか、フリーアドレスのテーブルやチェアを多数配置。企業だけでなく県内外のクリエイターなど個人事業者にも開かれた空間を提供する。また、ここに集まる企業、個人の交流により、新しいアイデアを融合させるなど無限の可能性を秘めている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

東日本大震災を契機に情報の一極集中によるリスク分散やワークライフバランスの実現などIT企業がサテライトオフィスを展開することの利点が改めて見直されている。神山町で生まれたモデルをオープンにし、日本の田舎のみならず世界の田舎の地域解決モデルへと発展させていこうと考えている。

6. 今後の課題と展開

進出企業の誘致、生活面でのサポート、施設の環境作りなどの課題が考えられる。町、NPO、進出企業がアイデアを出し合い、お互いにメリットが生まれるように展開していきたい。